

桜花棟

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・現在の地で、楽しく穏やかに暮らして行けるような理念を構築している。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・月に1度のミーティング時に共有し、実践できるよう話し合いを行っている。新人職員に対しては、職員研修を行って理解してもらっている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・家族へは、入居時に説明し、地域の方へは、地域運営推進会議などで説明を行っている。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		2	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・天気の良い日は、近隣の散歩に出かけ、近所の方や保育所の先生方と挨拶を気軽に行っている。特に保育所では、散歩に出かけると園児が笑顔で駆け寄ってきて話しかけてくれる。又、隣近所の方から、ご自宅で採れた栗の実をいただいたりとお付き合いができています。	0
		5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・入居者の高齢化により、地域活動への参加は少ないが、近隣保育園の行事等にお招きをいただき参加している。 ・回覧板をやり取りする中で、地域の一人として参加できている。清掃活動、子供会の廃品回収、地域フェスタなどの行事に参加することで、地元の人々と交流を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域運営推進会議開催時に、地域住民の代表の方々から、町内の高齢者の状況などをお聞きし、意見交換を行っている。又、施設主催の「認知症の講演会」などの開催時には、地域の方にも参加の声掛けを行っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・外部評価前に、意義を職員全体で理解できるよう説明し、評価後は、その内容を話し合い、改善に向けて取り組んでいる。	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・評価後の推進会議で評価を受けたことを報告し、内容を説明し、今後の取り組みについてご家族や地域の方への協力を求めている。	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・分からないことがある場合等、問い合わせや相談を行っている。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・講習会等に参加し、学ぶ機会を活用し、必要な方には、支援ができることをお伝えしている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待についてのマニュアルを作成している。 ・市主催の講習会に参加し、学んだ内容をミーティングで全職員に説明を行った。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居、退去にあたっては、事前に数回、本人やご家族と面談を行い、納得されるまで契約内容を説明し理解してもらっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・日頃から、入居者との対話を行い、悩みや不満などを汲み取れるよう常に注意をしている。 ・悩みなどの相談を受けた時は、その都度対応している。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・定期的に写真入りのお便りを発行し、生活の様子をお知らせしている。 ・健康状態などに変化があった時は、必ず電話で報告している。又、施設への来所時に状況などもお伝えしている。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・各ユニットの玄関に、ご意見箱を設置している。又、気軽に意見を言えるようご家族の来所時には、声掛けを行っている。 ・契約時に他の相談窓口（関連病院の医療ソーシャルワーカーや市の介護保険課、国保連等）について説明を行っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・ミーティングや個別の面談、及び懇親会等により提案や意見を聞く機会を設け、反映させている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・8名の職員で4交代制を実施しており、行事や利用者の状況に応じ、必要な時間帯の勤務者の増員を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・日頃より職員は、馴染みの関係を取り、離職者がとても不安がないように、他の職員でカバーを行い、すぐに補充を行っている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	2
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・年齢不問で募集を行っている。現在10代から60代までの幅広い年齢層の職員体制である。60代の方は、夜勤回数を減らして働きやすくする等の配慮を行っている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・福岡市の研修に参加し、学んだ内容(人権、同和など)をミーティングで全職員に報告を行った。	1	定期的な人権に関する勉強会や研修会を実施する。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新人職員の育成マニュアルを作成し実施している。 ・実践者研修・リーダー研修や管理者講習などへ、段階に応じて職員を受講させている。 ・行事の企画運営を任せ、業務に関しても意見を求めたりして育成に取り組んでいる。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・分からないことがあれば、他の施設に問い合わせをしたり、研修会の機会などに情報交換をしている。	1	・地域のグループホームと交流実習の計画を立てていたが、職員の退職などで、まだ実施に至っていない。今後機会があれば取り組みたいと考えている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員とは、個人面談や勤務時間内外に話す機会を持ち、提案や悩みを聞くことでストレスの解消ができるように努めている。 ・主な休憩場所に、冷暖房完備の和室を使い、枕、毛布などの寝具が整っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・懇親会や忘年会等を開催している。又2年に1回は職員旅行も実施している。・職員体制を1ユニット8名とし、有休等が取りやすいゆとりある体制としている。・休憩室は冷暖房完備で和室で休憩時には横になり休むことができる。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前にはご本人にも必ず見学していただいている。 ・入居前に必ずご本人とも面談の機会を設け、お話しすることで、ご本人の心身の状況や悩み、不安などを理解し把握できるように努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・施設見学時や入居相談時には、十分な面談時間を取り、ゆっくり話を聞くようにしている。又、介護で頑張って来られたことに、必ずねぎらいの言葉かけをするように心がけている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・何も分からずに相談に見えた時には、まず介護保険制度について説明をしている。又施設か在宅か迷われているご家族にはよくお話しをお聞きして、在宅で可能であれば近隣のケアマネージャー繋いでいる。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ゆくゆくグループホームに入居希望ということで、同じ敷地内にあるデイサービスを利用してもらい、当施設に慣れていただく等も行っている。・ご本人やご家族の希望によっては、自費による体験入居も行っている。 ・アセスメントを活用し、出来るサービスを徐々に実施している。	0	
	2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・食事準備から後片付け、掃除、洗濯物干しやたたみなどを一緒に行い、又、季節の行事を職員と入居者が一緒に楽しみ過ごすことで喜怒哀楽を共有している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・行事（バスハイク、敬老会、お花見会、バーベキューなど）にご家族の参加をお願いし共に行動することで、共に支えあう関係が築けている。 ・定期の病院受診は、ご家族にも付き添っていただくなど協力関係を築いている。 ・定期的なお便りを送り日常の様子を報告している。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・暮らしの情報シートや、施設内行事やバスハイク等にご家族をお誘いし、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居者の方によっては、幼馴染の方との葉書のやり取りや、一時帰宅、墓参りができるように家族と協力し支援を行っている。又、電話などで遠方の方との関係が維持できるように支援を行っている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・入居者の性格を把握し、入居者同士が共に助け合ったり、作業（食事の配膳や洗濯物干し等）を一緒に出来るよう工夫し声掛けを行っている。又、入居者の性格や相性により座席の配慮も行っている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他の施設に退去されたり、病院に入院されている時など様子を伺いに行っている。	0	
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	0
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・生活歴を確認したり、日頃の些細な会話からも望むことを受け止め、希望に添えない場合でも納得いかれるよう話し合いを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・家族や身近な方、前入居施設や病院等に確認し、情報を提供していただき、暮らしの情報シートを活用し、総合的な把握に努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・入居後は、ケア記録を細かく記入し、状態や現状を全ての職員が、共有して把握できるよう取り組んでいる。 ・各職員が気づいたこと等は、その日の申し送り時や申し送りノート等を活用し、情報共有を行っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・初回の計画は居宅での担当ケアマネージャーさん等にも相談しながら計画作成している。 ・計画更新時はもちろんのこと、利用者やご家族には日常にお話や意見をお聞きし、計画の作成に役立てている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・定期に見直しを行い、途中変化が生じた場合は、その都度本人やご家族に相談及び説明を行い、サービスの追加を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別ケアや個別記録に記録された内容を確認し、ミーティング時や申し送りノート等で情報を共有し、見直しに活用している。受診記録を参照し、計画に生かしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・入居前に同じ敷地内の認知症対応型のデイサービスに通所していただき、施設に慣れていただくと共に、職員がご本人を具体的に把握できるようにしている。 ・利用者やご家族の希望によっては、1回/月 開設病院の往診を行い、健康管理を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域運営推進会議に民生委員の方に参加してもらっている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・必要に応じて話し合いを行い、支援できる体制をとっている。・関連病院のソーシャルワーカーや地域のケアマネージャー等への相談	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・入居者やご家族にセンターとの共働できることを説明している。 ・地域運営推進会議に参加してもらい、相談や各種の説明をその都度行ってもらっている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・定期的な受診は、家族にも対応してもらい、緊急時は職員が対応し、内容を家族に報告している。 ・連携病院には一回/月 往診をお願いしている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・かかりつけ医がない場合、協力医療機関の専門医を紹介し適切な治療が受けられるよう支援を行っている。 ・医療機関へご家族でも受診してもらい、最近の状況を書面にて医師へ報告している。 ・専門医による講習を行い、ご家族や職員からの質疑応答も行っている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・施設課長が看護師として常勤しているので、日頃から入居者の体調の変化を話し合い、必要に応じて受診を支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院になった場合は、経過や生活内容等を書面にて報告し、入院中の状況を逆に尋ねるなどして情報交換を行っている。 ・早期の退院に向けて、主治医や病院関係者と相談している。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・本人、家族、医師との連携をとり話し合いを行っている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・重度や終末期にかかわらず職員間で「できること、できないこと」の把握に努めている。 ・協力病院もあり、今後の変化に対応できるような体制がある。 ・看取りはしなかったが、亡くなる直前まで介護した実績がある。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・自宅や他施設、病院などへ移られる場合は、情報を提供（添書）し、必要に応じては、移転先の相談員の方とも話し合いを行っている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報や言葉かけに対しては、新人研修で説明し、他の職員にはミーティング時に、随時説明を行っている。	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・個人の希望や悩みなどを聞き、意思決定の働きかけを行っている。その中でも、起床時や入浴前には、ご自分の衣類を選んでもらうなど自己決定の支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員側の都合や業務優先にならないように利用者のペースを守ること「待つこと」の大切さをミーティングで話し合い、必要に応じ指導を行い、支援をしている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・1～2ヶ月に1度訪問理美容を利用し、希望があれば近隣の店に行けるように支援を行っている。 ・ご家族の協力がある方へは、いきつけの美容院にも出かけられるよう支援を行っている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の調理や配膳など、その方の能力を活かし、できることに参加してもらえよう支援を行っている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒やタバコを好まれる方はいないが、飲み物や食べたい物など希望のある方には、一緒に買い物に行き、楽しめるように支援を行っている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・入居後や退院後の状況により、昼間のみ普通下着に変更したり、排泄チェック表に記録することでパターンを把握し、トイレ誘導により失禁が少なくなるように支援を行っている。 ・失禁が少なくなった方には、リハビリパンツから終日、普通下着への変更を行っている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴希望を伺い、入浴方法、曜日や時間も本人の希望に沿って支援を行っている。 ・入浴準備(衣類選び)も一緒に行えるよう支援をしている。 ・入居者によっては同姓介助を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・就寝、起床の時間は一人ひとりの習慣を尊重し、朝食の時間もずらすなどに対応している。 ・昼寝の習慣のある方は、適当な時間ベットなどで休んでもらい、夜間の睡眠に支障がない程度で声掛けをするなどの支援を行っている。 ・加湿器やエアコンを使用し、居室の湿度や温度に気を配っている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個人の状態に合わせた役割や、気晴らしのための散歩(室内外)の支援を行っている。 ・縫い物や習字、お謡いなど興味のある方に参加をしてもらい、楽しみの支援を行っている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・希望される方へは、ご家族の了解のもと、お金を所持されている。又、支払いもご自分でしてもらっている。 ・買い物希望される方には、直接購入に行き、支払もご自分でできるよう支援している。 ・個人ノートを準備し、購入後のレシートを添付している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・希望があれば、散歩や買い物に行けるように支援をしている。 ・表現の乏しい方などは、職員側から声をかけ出かけられるような支援を行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・一人ひとりの意見を参考に聞き、少し遠出でも家族への協力をお願いし、りんご狩りやつつじ見物などへバスハイクを行い、外出の支援を行っている。又、コスモスや紅葉見物、お正月には初詣に行っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望のある方は、自由に事務所の電話をいつでも使用し、かけることができるように支援を行っている。 ・葉書や年賀状などのやり取りができるように、家族と協力し支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	・友人、知人等は遠方の方が多く、訪問がなかなか無いが、家族や親族の方などの来所時には、希望される場所でお話しができ、お茶をお出しして居心地よく過ごせるよう支援を行っている。 ・玄関前の花壇周囲にベンチを置き、外に出ても過ごしやすいよう工夫をしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・委員を決め必要時には、召集して会を開いている。内容は後日、他の職員も閲覧し身体拘束をしないケアを実施している。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関にセンサーを設置し、夜間以外は鍵をかけずに自由に入出入りできるようにしている。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・同じ勤務帯の職員間で声を掛け合い、所在や様子を把握できている。 ・訪室時はノックをし、個人のプライバシーに充分配慮をしている。 ・夜間は、1時間毎の巡視を行い、安全に留意している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・注意物品には、十分に気を配り定位置に収納し、保管や管理を行っている。 ・状態に応じて、私物のハサミなどは、個人の保管に任せている方もある。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・マニュアルを作成している。 ・ヒヤリハットや事故報告書の提出があった時は、ミーティングで再発防止のための話し合いを行っている。 ・年に2回の防火訓練を実施している。 ・ほぼ全職員が、救命講習を受けている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・事故発生時のマニュアルを作成し、職員は内容を理解し把握できている。 ・全職員が、消防署主催の救命講習に順次参加している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・災害時のマニュアルを作成している。 ・防災、避難訓練を入居者も一緒に年2回実施している。 ・地域運営推進会議で、地域の方へ協力をお願いしている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・必要時（居室へのセンサー設置など）及び介護計画作成時に説明し、対応策を検討、計画の中に盛り込み理解を得ている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日バイタルチェックを行い、記録表に記入している。 ・日頃から各個人との対話を行っており、体調の変化に気付いたときは、速やかに看護師の施設課長に報告し、指示に従い対応している。 ・個人記録や申し送りノートにより、情報を共有している。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・受診後は、受診記録に記入し全職員が確認し、薬の内容等も把握できるようにしている。 ・細かい内容等がある場合、申し送りノートに記入したり、薬箱に表示するなどの対策を取っている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排泄チェック表に、確認時に記入するようにしている。 ・食事にも、野菜類や寒天など食物繊維の摂取に努め、運動量の少ない方には散歩の支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、一人ひとりに声をかけ、ご自分で歯磨きを行ってもらっている。又、必要な方には歯磨きの支援を行っている。 ・義歯を使用されてある方へは、夕食後外してもらい専用の洗浄剤使用の支援も行っている。 	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の食材を取り入れながら、栄養バランスにも気を使い、季節毎のメニューを作成している。 ・偏食の方へは、バランスよく食べられるように声かけや、食器の配置換えなどを行っている。 ・食分量や、水分量（必要な方のみ）をチェック表に記録している。 	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止マニュアルを作成している。 ・講習等に参加し、予防対策や手順を目に付く所に貼り、実施している。 ・入居者、家族、職員へ帰宅時、来所時、出勤時に手洗いとうがいを徹底して行ってもらっている。 	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルを作成し、徹底すべきこと（調理用具の消毒など）は抜粋し、台所の目に付く所に貼り、全職員が統一してできるようにしている。又、ミーティングにおいて全職員に注意を呼びかけている。 ・冷蔵庫内の配置も決め（卵など）、食材管理に気を配っている。 	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前の花壇を中心に草花を植え、周囲にはベンチを置き気軽に休憩ができ、花が眺められるように工夫をしている。 ・高齢者や体の不自由な方でも出入りができるように、スロープや手すりを設置している。 	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・共用の居間には、季節感のある装飾を行っている。又、ロールカーテンで光を調整し、窓の開閉で音や匂いにも配慮をしている。 ・天気の良い日には、中庭に洗濯物を干し生活感を出している。 	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・食事の席や、テレビの前のソファでは気の合う方と一緒に座るなど配慮している。 ・個人の時間を持ちたい方は、居室で過ごすなど自由にいただいている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・各自の居室には、本人やご家族と相談し、使い慣れたタンスやイスなどの家具を持ち込んでもらっている。又、壁面などには、ご家族の写真や親しみのある物を飾るなど自由な工夫の援助を行っている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・起床時や、天気の良い時には窓を開け、においや空気のよどみがないように配慮をしている。 ・温度計や湿度計を利用し、エアコンの温度調節や加湿器の利用を行っている。 ・24時間換気の設備を整えている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居間や廊下、トイレ、浴室などに手すりを設置し車椅子でも対応できる広さがある。又、段差の無い設備となっている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・居室やトイレが分かりづらい方には、大きな貼り紙やドアの色分けをし混乱がないように工夫をしている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関前には花壇があり、周囲にはプランターも置き、花の種まきを一緒に行っている。 ・建物の南北には畑があり、野菜作りや収穫にも参加していただき、楽しんでもらっている。又、北側の畑では保育園児と一緒に芋ほりを行っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。